

あなたは、動物が好きですか。
あなたは、ペットを飼っていますか。

動物が好きな人、苦手な人、これから飼おうとしている人、すでに飼っている人も
動物は私たち人間と同じ**命**あるものと捉えて、
“人と動物にとっての幸せ”とは何かを今一度考えてみてください。

特集 動物愛護

“動物と共に生きる” ということ



ちゃんねる
連動



今回の特集の内容は、市政情報等提供番組「ちゃんねるよっかいち」でも紹介します。

- 地デジ12ch(CTY)
- 9月21日(金)～30日(日)に放送
月・水・金・日曜日 9:30、20:30
火・木・土曜日 12:30、20:30

現状を知る

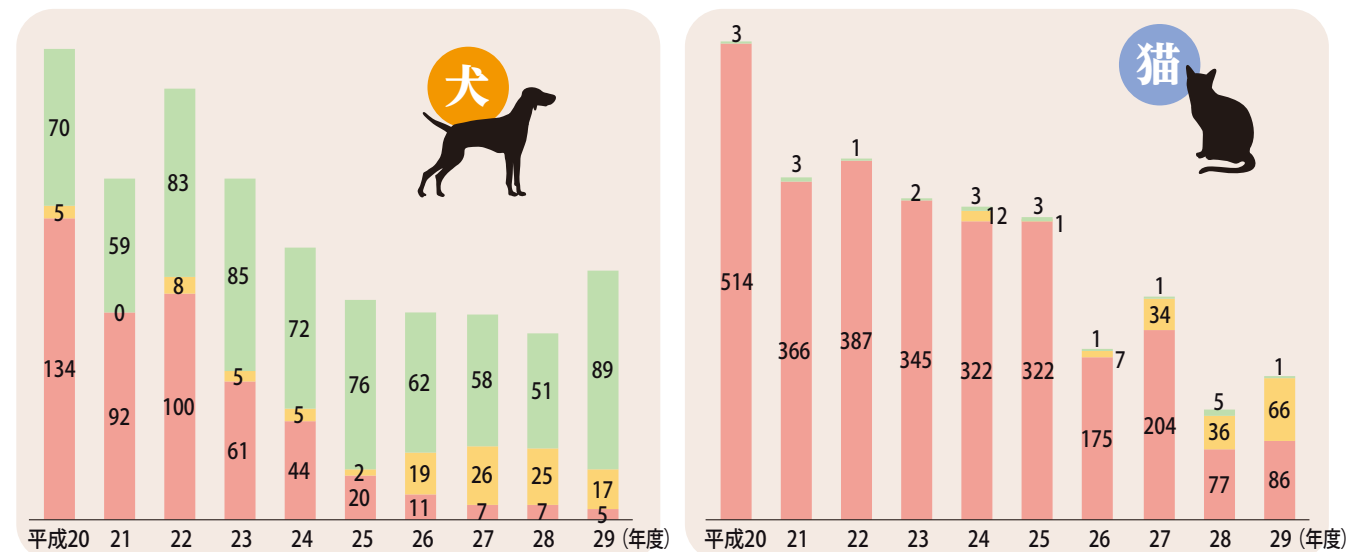
子猫の収容数が増加

四日市市保健所衛生指導課分室(新正四丁目)は、飼えなくなったペットや飼い主不明の犬・猫が収容される場所です。同室には、「引っ越し先でペットが禁止である」「犬が病気になった」「首輪をつけた犬がウロウロしている」「自宅の敷地内で子猫が生まれ、取り残されている」などさまざまな相談が寄せられています。まずは、最期まで飼うように説得をしたり、子猫の親猫が近くにいなかったか聞き取りをしたりするなど、できる限り収容しない方法を相談者と探します。しかし、収容することになり、返還や譲渡ができなかった犬猫は、麻酔薬や炭酸ガスにより、殺処分することになります。



数字で見る返還・譲渡・殺処分状況

返還数 譲渡数 殺処分数



四日市市で1年間に殺処分される犬や猫の数は、減少傾向にあります。10年前と比べると、犬はほとんど返還または譲渡され、猫は、殺処分数が約6分の1にまで減少しています。

猫については、平成24年から譲渡制度を開始し、ボランティア団体の協力を得たことで、近年は譲渡数が増加傾向にあります。しかし、収容される猫は、生まれて間もない子猫が多く、子猫を増やさない対策が必要です。

殺処分ゼロを目指して

「ゼロ」という言葉の意味は、殺処分を廃止することではありません。殺処分が発生してしまう仕組みをなくすことです。収容される犬や猫を減らし、譲渡した犬や猫が二度と保健所に戻ってこないような環境をつくるのが重要です。殺処分の数が0になることだけを目指して、誰にでもむやみやたらと譲渡することは、本当の殺処分ゼロの意味ではないと考えています。四日市市保健所では、1頭でも多く救える命を増やすため、さまざまな取り組みを行っています。





取り組みを知る

殺処分ゼロを目指す四日市市 保健所

現在、四日市市保健所では、啓発活動を重点的に行いながら収容される動物を減らす入口対策と、適正な譲渡の推進をする出口対策に力を入れています。

「飼おうとしているその犬や猫を、最期まで飼うことができますか。あなたが餌をあげているその野良猫に、何かあったときの責任は取れますか。その問いと向き合う機会を、私たちは積極的に設けています」と衛生指導課の担当者は話します。

衛生指導課 **神谷 紫珠子**

動物との接し方教室

この教室では、園児や小学生を対象とし、動物の生態から動物との接し方、ペットを飼うときの注意点などを学びます。この教室で知ったことや感じたことを家族と話し合っ、命の大切さについて考える機会をつくることは、人と動物が幸せに暮らせるまちづくりに繋がります。



▲犬との触れ合いを体験

犬をなでるときは飼い主に触っていいか尋ねてから。犬のなでも良い部分は胸の辺り。

◀野良犬などの知らない犬に遭ったときの対処法

声を出さず目を閉じ電信柱になったつもりで犬が離れていくのを待つ。

あなたのペットを守るために

大切なペットが、安全にそして安心して暮らすことができる環境をつくるため、制度の活用を啓発しています。

避妊・去勢手術の補助

一般に1回の出産で犬は5~10頭、猫は4~8頭の子どもを産みます。むやみな繁殖を防ぐための措置(繁殖制限処置)をお願いします。

避妊・去勢手術は、問題行動の抑制や病気の予防にも有効です。飼い主のいない猫の手術に対する補助もしています。

(補助額 1頭あたり)

	メス	オス
犬・猫	3,000円	2,500円

※補助金の申請は、手術前に提出する必要があります

マイクロチップ

犬や猫など動物の「個体識別」をするために、小さな電子標識器具をチップ注入器で皮下に埋め込みます。ペットは、室内で飼っていても、雷などの大きな音でパニックを起こして逃げ出すことがあります。

【メリット】

- ①首輪が外れても、保護されたときに身元が確実に分かります
- ②地震などの災害ではぐれても、あなたの元に帰ってくる可能性が高くなります
- ③登録番号の変更ができないため、盗難にあった際、身元保証になります

※装着は、必ず獣医師が行わなければなりません。費用など詳しくは、お近くの動物病院にご相談ください



取り組みを知る

ボランティア団体との協働

殺処分ゼロを目指すためには、譲渡に関して行動力や柔軟性があるボランティアとの協働が非常に重要です。ボランティアとして活動する動物愛護団体「つむぎ」は、代表の服部さんが約2年前に立ち上げました。現在、会員は20人。保健所に収容された犬猫を一時保護するほか、月1回の譲渡会を開催しています。服部さんは、「生涯、何があっても面倒をみる気持ちで、迎え入れてほしい」と訴えます。



四日市動物愛護団体 つむぎ
服部 千賀子さん

命のバトンをつなぐ犬の譲渡会



保健所に収容される犬は、高齢だったり病を患っていたりする場合がありますが、ボランティアの会員はできる限り平等に一時保護しています。その後、里親探しのため、譲渡会を開催し、1頭でも多くの犬の命をつなぐ活動を行っています。引き渡す相手方への条件はとて厳しくなっていますが、それは犬たちが二度と悲しい運命をたどることのないようにしたいという、ボランティア側の真剣な思いと大きな愛情そのものなのです。



譲渡会情報

「つむぎ」が開催する譲渡会は、毎月第2日曜日の10:00~13:00に南部丘陵公園で行われています。新しい家族を待つ犬に会うことができます。

☑「つむぎ」の譲渡条件

- 終生家族として飼育を約束していただける人
- 毎年の伝染病予防ワクチンの接種、犬の場合は狂犬病予防注射・フィラリア予防をしていただける人
- 去勢・避妊手術を必ずしていただける人
- 譲受人負担でマイクロチップ・当会規定の迷子札を装着していただける人
- ペット飼育OKの住居にお住まいの人
…など全14項目

この他にも、家族構成や居住環境など細かく聞き取りをします。そして次に、飼い主となる人の住まいを実際に見て、受け入れ先として適切かどうかを判断します。新しい家族に仲間入りするまで、譲渡会から2~3週間かかります。



迷子札も
付けましょう



迎えたその犬猫はあなたの“家族” 愛情を注いであげてください

片方の耳が桜の花びらのように、V字にカットされている野良猫を見つけたことはありませんか。それは、避妊・去勢手術済みのしるしで、その地域の人たちの野良猫に対する理解が高い証拠です。

四日市市では、地域と協力して、猫と暮らしやすいまちづくりを進めています。

さくら耳は避妊・去勢手術済みのしるし



元の場所に戻すのはなぜ？

早く殺処分してほしい、他の所へ連れて行ってほしいと考える人もいます。しかし、この活動は、その場所にいる猫たちが子猫を産まず一代限りの命を全うし、最終的には野良猫がいなくなるようにすることを目的としています。

耳をカットする必要があるの？

野良猫たちが地域で住民と一緒に生きていくためには、避妊・去勢手術を施し、これ以上増えないことを主張していく必要があります。そのため、誰が見ても分かる目印となるよう、手術が済んだ猫の耳先をカットするのです。

TNR活動

TNR活動とは、Trap、Neuter、Returnの略称で、野良猫を一時捕獲した後、避妊・去勢手術を行い、元の場所に戻す活動のことです。



地域の協力

平成29年6月、三重県と(公財)どうぶつ基金との一斉TNR協働事業に四日市市が参加し、富田地区で20頭の一斉TNRが行われました。

地域の自治会が中心となり、生息状況の確認から、捕獲中の猫の世話、放猫後の調査、子猫の里親探しなど、地区の猫によるふん害などの対策としてできる限りのことを、ボランティア団体や保健所も一緒に取り組みました。この時の苦労や発見は、その後の市内でのTNR活動に生かされています。

一活動を始めたきっかけは

猫をかわいがる人は多くいますが、餌をあげるだけで、その後のふんや尿の掃除までは行わない人がほとんどです。そうやって地域が汚れて、猫が嫌われてしまう様子を見て、居ても立ってもいられなくなりました。

一活動中の苦労は

TNR活動を始めたときは、深夜の時間帯に猫の生息状況の確認をすることもありました。今でも、さくら耳になっていない野良猫を見つけたときは、動物病院で手術をしてもらっています。時間も体力もお金もかかる活動なんですよ。

一地域の皆さんに伝えたいことは

活動して良かったのですが、僕のことを、ただ餌をあげる猫好きなおじさんだと思っている人もいると思うんです(笑)。野良猫と地域の付き合い方は、この活動を継続しなければ改善しないものだと捉えています。この活動をきちんと知って、動物を大切にすることの本当の意味を考えてほしいです。

富田地区でのTNR活動を先導した 広瀬 浩二さんにインタビュー



一代限りの命をやさしく見守って 避妊・去勢手術の可視化にご理解を

「かわいいから飼う」「かわいそうだから餌をあげる」という軽い気持ち、それが不幸な動物を生むことになってしまいます。飼い主は、動物が健康で快適に暮らせるようにするとともに、社会や近隣に迷惑を及ぼさないようにする責任があります。また、野良猫にむやみに餌を与えると、場所を構わずふんをしてしまうなど周辺住民とのトラブルを招きかねません。

ペットを飼う前に

- 家族で話しましょう**
ペットについて学び、迎える準備をしましょう。
- 自治体などからの譲渡も視野に入れて**
ペットを入手する選択肢の一つです。
- しっかり説明を受けましょう**
その動物の病歴や飼い方、寿命や避妊・去勢手術について正しく理解しましょう。
- 飼わないという選択肢もあります**
最期まで飼う覚悟ができれば、飼わないという選択も、間違いではありません。

ペットを飼い始めたら

- 最期まで責任を持つ**
健康管理に注意し、命を終えるまで適切に飼いましょう。
- 連絡先を明示しよう**
首輪を付け、飼い主の名前や連絡先を明記しましょう。
- 逸走防止に努めよう**
ペットが迷子にならないよう、外出時は必ずリードやケージを使いましょう。
- むやみに繁殖させない**
必要に応じて避妊・去勢手術を行いましょう。
- 猫は室内で飼いましょう**
交通事故や感染症などの防止につながります。

地域の環境を考えて

無責任な餌やりは行わない

かわいそうという気持ちは、「ふんを始末する」「餌の片づけをして清潔にする」「避妊・去勢手術を受けさせる」などの方向へ向けましょう。猫の本当の幸せを考えた行動をお願いします。

環境省 「人と動物が幸せに暮らす社会の実現プロジェクトポスター」より抜粋

平成29年5月
OPEN!

三重県動物愛護推進センター(あすまいる)
津市森町2438-2

三重県が津市に開所した動物愛護推進センター(あすまいる)では、県内の保健所に収容された犬や猫の譲渡を行っています。新しい飼い主を待つ犬や猫に会いに、そして動物愛護について学びに「あすまいる」へお越しください。【開館時間】9:30~16:30 【休館】毎週水・土曜日(祝日除く)、祝日の翌平日、年末年始 【電話】059-253-1238



ペットにとっては飼い主が全て。最期までその命に責任と愛情を持って。そして、殺処分される犬猫がいなくなりますように。

●この特集についてのお問い合わせ・ご意見は

衛生指導課 ☎352-0591 FAX351-3304
衛生指導課分室 ☎352-0613 FAX352-1611
広報マーケティング課 ☎352-8244 FAX354-8315